



第50期 ご 報 告

2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日

www.tanabekeiei.co.jp

証券コード 9644

Management Philosophy

経営理念

タナベ経営は、企業を愛し、
企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕し、
広く社会に貢献すべく
超一流の信用を軸とし、
国際的視野に立脚して無限の変化に挑み、
常にパイオニアとして世界への道を拓く。

(注) このご報告に記載の金額および株式数は、
表示単位未満を切り捨てて表示しております。

To Our Shareholders

株主のみなさまへ



代表取締役社長

本元仁志

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

当社第50期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の事業内容等をご報告するにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当期は、「成長力・収益力のパワーアップで持続発展企業への挑戦」を基本方針に掲げ、その実現に向け、次のとおりの施策を部門ごとに行ってまいりました。

コンサルティング統轄本部では、コンサルティングメソッドの開発と顧客開拓の強化を推進するとともに、CRM(顧客管理)の強化により顧客基盤を強化してまいりました。その結果、長期契約型のコンサルティングサービスの月間売上が最高値を更新(過去5年間)するとともに、過半数のコンサルタントが1年間で10%以上、付加価値生産性が向上しました。

ネットワーク本部では、金融機関、会計事務所に加え、社会保険労務士事務所との提携を積極的に進めながら、新規サービスの開発に努め、顧客基盤の拡充に注力してまいりました。

SP事業部では、総合販促支援領域への展開のため、イベント企画等の新分野開拓を進めるとともに、付加価値の高い提案営業の向上に努めてまいりました。それによりリーマンショックで落ち込んだSP売上も着実に回復してまいりました。

日本経済は回復の兆しはあるものの、電力供給の制約や不安定な為替相場、欧州政府債務危機の影響などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。そのようななか、当社は『企業の持続発展を支援する』を追求するため、顧客の真のニーズに耳を傾け、創意工夫をしながら、新たな商品・サービス開発を進めてまいりたいと存じます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2012年6月

コンサルティング統轄本部

▶経営コンサルタントとは

- 企業経営における様々な経営課題に対して解決策をアドバイスする経営のパートナーです。

▶当社のコンサルティングサービスの特徴

- 経営コンサルタントが国内主要10都市の拠点に駐在し、地域密着型コンサルティングを行っています。
- 特定の業種・機能(財務・生産等)にではなく、全体最適のもと、「経営」という視点で企業を診る総合コンサルティングを実施しています。
- 主に中堅・中小企業が対象です。

▶主なコンサルティング例

- 事業戦略・経営戦略の推進サポートと経営判断のアドバイス
- 組織設計、組織活性化、人材育成
- 賃金制度等の経営システムの構築支援
- 収益構造改革(生産現場改善等)
- 事業継承、後継体制づくり

当社のコンサルティングの姿勢

ニーズに対して
パッケージ・パターンをただ当てはめる
(部分最適)

のではなく

その時々が生じる問題を総合的に
企業の全体を見ながら判断
(全体最適)

企業の永続発展

三現主義

半世紀を超える三現主義(現実・現場・現品)コンサルティングから生まれた「実証済みのメソッド」を基に現状を総点検。問題の本質を踏まえて現場から戦略・ビジョンを導き出す。

判断

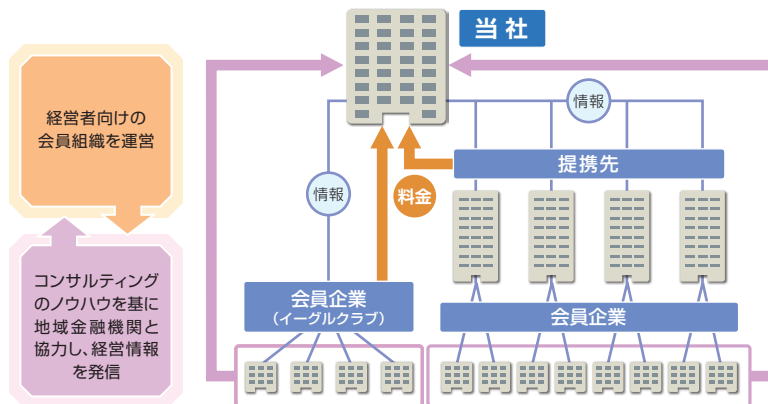
戦略・ビジョンには高度な経営判断が求められる。
「判断」を中立的・客観的立場で提言。

実行

提供した判断に基づき、戦略・ビジョンを実行レベルまでサポート。
永続発展を実行できる人材を育て、正しい社風を創り出すまでサポート。

ネットワーク本部

1959年に経営者の勉強会組織「イーグルクラブ」を発足したことがネットワーク本部の始まりです。現在では、経営者向けの会員組織を運営するとともに、半世紀に亘り培ってきたコンサルティングノウハウをまとめた経営情報を提携する金融機関、会計事務所、社会保険労務士事務所等を通じて継続的に発信することにより、将来のお客さまとのリレーションを強化しております。



SP事業部

1959年に創業者の提案により、経営コンサルタントが考えた「ビジネスに役立つ手帳」としてブルーダイアリーが誕生したことがSP事業部の始まりです。現在では、ノベルティやマーチャンダイジング、プロモーションサポート等、事業活動の幅を広げております。

企業の販促活動からブランド力・知名度向上を通じて、企業の成長をサポートしております。



ノベルティ

企業のイメージアップ・販売促進を目的とした販促ツールの企画から製作・納品

ブルーダイアリー

1959年発行のビジネス手帳
年末贈答品や社員手帳として

マーチャンダイジング

これまでの商品企画や調達、製作ノウハウを活かして、企業の販売用商品製作をお手伝い

プロモーションサポート

ロゴ作成や年間を通じた販促における企画から、イベント・展示会への出展、会社案内等の製作など、企業の販売促進に係わる活動をトータルで企画、提案

Operating Results

事業の概況

コンサルティング統轄本部

- 経営協力売上や教育売上、セミナー売上が増加しましたが、診断売上、研修センター売上が減少したため、トータル売上は右記のとおり減少しました。

売上高

31億50百万円

前期比21百万円(0.7%)の減少



47.0%

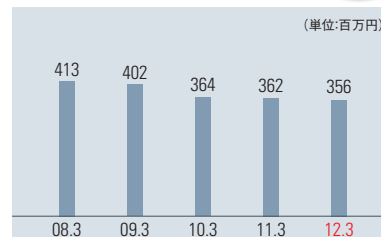
ネットワーク本部

- 提携先金融機関等への情報売却等による売上は増加しましたが、当社が直接運営する会員組織の売上が減少したため、トータル売上は右記のとおり減少しました。

売上高

3億56百万円

前期比6百万円(1.7%)の減少



5.3%

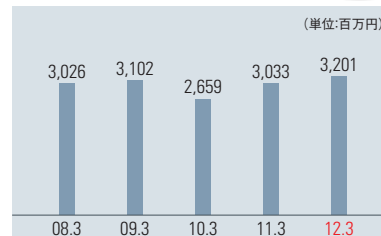
SP事業部

- ビジネス手帳の売上は減少しましたが、その他セールスプロモーション商品の売上が増加したため、トータル売上は右記のとおり増加しました。

売上高

32億1百万円

前期比1億68百万円(5.5%)の増加



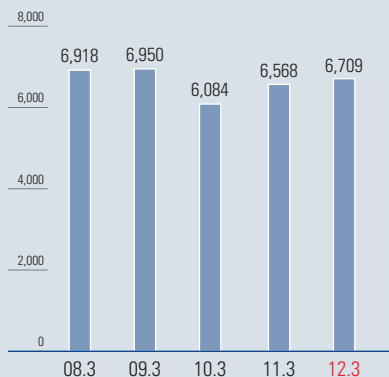
47.7%

Financial Highlights

決算ハイライト

売上高

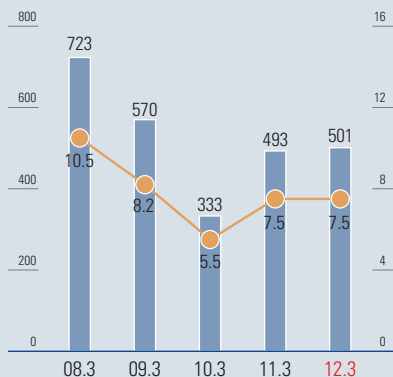
(百万円)



営業利益・営業利益率

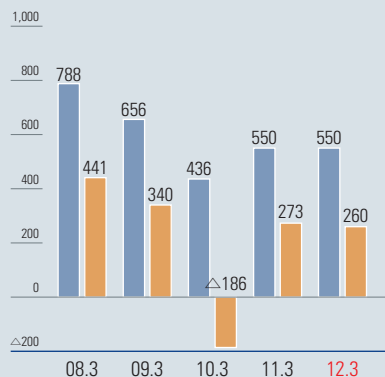
■ 営業利益 (百万円)

● 営業利益率 (%)



経常利益・当期純利益

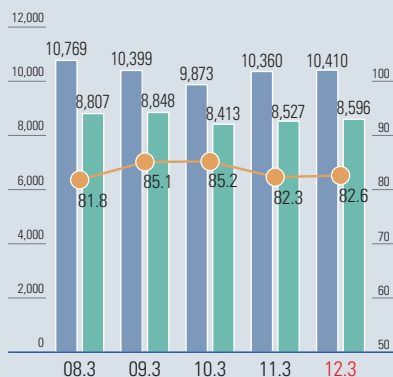
■ 経常利益 ■ 当期純利益 (百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

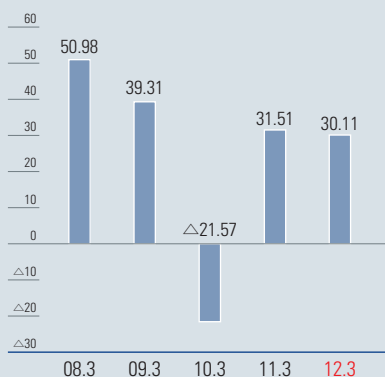
■ 総資産 ■ 純資産 (百万円)

● 自己資本比率 (%)



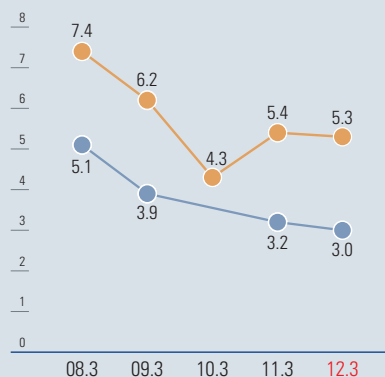
1株当たり当期純利益

(円)



ROE・ROA

● ROE ● ROA (%)



ROE：株主資本利益率 ROA：総資産経常利益率
※2010年3月期におけるROEは、当期純損失のため記載はありません。

TOPICS

トピックス◆セミナー・書籍等のご紹介

● セミナーのご紹介

経営戦略セミナー

毎年11月から12月にかけて全国10都市で開催しております「経営戦略セミナー」は、2011年度の開催をもちまして、おかげさまで52年連続開催となりました。

講師陣は経営の現場を熟知した当社トップコンサルタントが務め、世界経済・日本経済の動向を踏まえて次年度の経営環境を予測し、今回は「複需経済下のリ・ポジショニング戦略」を基調テーマに、とるべき戦略の基本方向と打つべき具体策を提言いたしました。

今年度は全国で1,600名を超える経営者や経営幹部、後継者の方々にご参加頂きました。当セミナーは、これまでに延べ70,000名以上の方々がご参加されております。



経営戦略テキスト

当セミナーでは、来年度の経済予測や戦略策定のポイントなどを集約した独自のテキストを使用しております。

企業を取り巻く経済環境、とるべき戦略の基本方向、実践具体策など、300頁に及ぶ充実の内容で戦略に対する理解が深まります。

● 新刊のご案内

01 『プレイング・マネジャー最強の仕事術』

著者：沖縄支社長 高島 健二（ダイヤモンド社刊行）

プレイング・マネジャーがマネジメントにおいて陥りやすい間違いから、現場改善に至るまでのポイントを、100の成功法則として分かりやすく紹介しております。

マネジャークラスの教育や自己啓発のための1冊です。

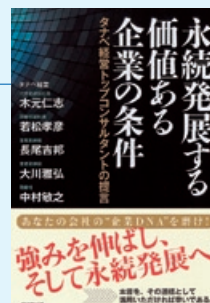


02 『永続発展する価値ある企業の条件』

著者：代表取締役社長 木元 仁志、取締役副社長 若松 孝彦、
常務取締役 長尾 吉邦、常務取締役 大川 雅弘、
取締役 中村 敏之 共著（ダイヤモンド社刊行）

コンサルタントでもある当社役員陣が、数カ月わたる議論を経てまとめあげた企業永続の原理原則を、1冊に凝縮した提言集です。

大規模な構造転換期に突入した世界経済、そして従来の戦略発想が通用しない市場環境を受け、中堅・中小企業はどのような経営を目指すべきか。危機を乗り越え、新たな時代を切り拓くための羅針盤として、経営者・リーダー層の方々にお役立て頂いております。



03 『伸びる20代の生き方』

（タナベ経営編）

仕事のこと、人生のことで悩み、模索する20代の若手社員がプロ社員として大きく成長していくための実践指南書です。

タナベ経営ファウンダー名誉会長・田辺昇一が著した「人生5部作」を基に編集し、「自己成長のための77のルール」としてまとめた本書は、新入社員・若手社員の自己啓発ツールとして広く活用頂いております。



TOPICS トピックス

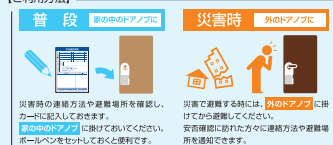
● SP事業部等のトピックス

01 新商品「災害時連絡カード」のご案内

「災害時連絡カード」は電話等が通じにくい中、安否や連絡の取り方を大事な人たちへ伝えることができるツールとして開発し、ノベルティや販売商品として、ご提案を行っております。



【ご利用方法】



02 中国・上海市に 拓捺貝貿易(上海)有限公司を設立

上海市に中国市場における販売促進支援サービスを行うための子会社を設立しました。

現地日系企業への手帳およびその他セールスプロモーションの販売、資材調達代行、展示会出展支援、検品立会、仕入先開拓を通じて、中国に進出している日系企業や欧米外資、中国企業への販促支援を行ってまいります。

商号 拓捺貝貿易(上海)有限公司
所在地 〒200336 上海市長寧区婁山関路83号
新虹橋中心大厦26階2661室
TEL +8621-3133-2671
FAX +8621-3133-2686
資本金 2,000万円
董事兼總經理 相澤 邦貴

COLUMN コラム

経験科学



常務取締役コンサルティング統轄本部 副本部長
田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事

長尾 吉邦

永続発展する価値ある企業づくりを総合的に支援する

当社は本年10月16日で創業55年を迎えます。これもひとえに株主さま、お客さまのご支援の賜物と深く感謝いたします。

当社では発信するコンセプトメッセージを刷新し「企業の永続発展を支援する」とし、その具体的な提言として、ダイヤモンド社より「永続発展する価値ある企業の条件」(タナベ経営トップコンサルタントの提言)を出版いたしました。

企業が構造転換後の厳しい環境を乗り越え、マーケットに必要とされる価値ある企業として未来を拓くための提言としてまとめたものです。ご一読頂き、皆さまの指針として活用頂ければ幸いです。



海外視察 【コンサルタント マレーシア視察研修】

コンサルティング統轄本部では海外視察研修を実施しており、2011年度はクアラルンプール（マレーシア）の現地企業や日系企業を訪問し、生産システムの特徴やグローバル人材の育成、現地でのマネジメントのやり方等を実際に触れてまいりました。

日本企業がASEANという市場を視野に入れた場合、マレーシアは消費マーケットとしての魅力度も高く、サービス業進出の可能性を感じさせる国であるといえます。

このように現場で得た実際の体験を基に、海外進出を検討されているクライアント企業に対してニーズに合った提案を行うなど、コンサルタント視野を広げ、コンサルティングの参考にしております。

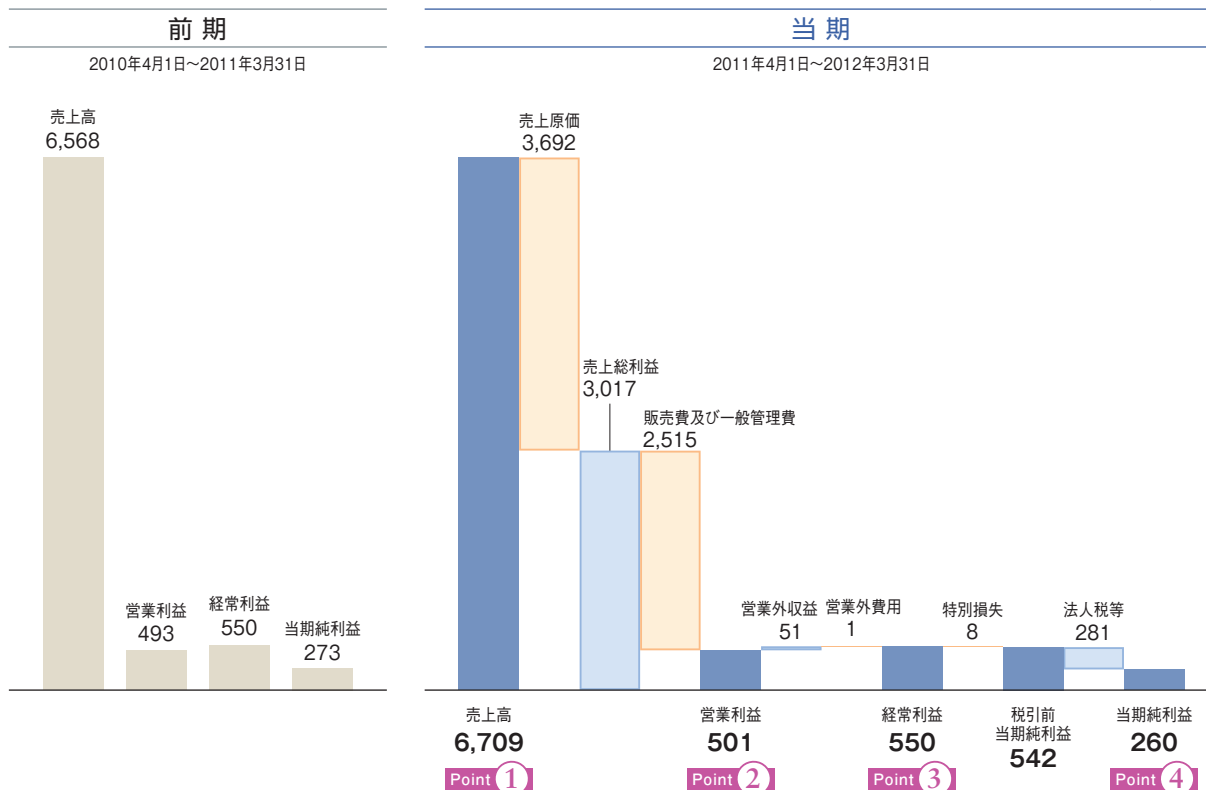


Financial Statements

財務諸表

損益計算書の概要

(単位:百万円)



Point ① 売上高

コンサルティング統轄本部0.7%、ネットワーク本部1.7%とそれぞれ減少しましたが、SP事業部が5.5%増加し、トータル2.1%の増加となりました。

Point ② 営業利益

売上高の増加と各種経費削減努力により、1.6%の増加となりました。

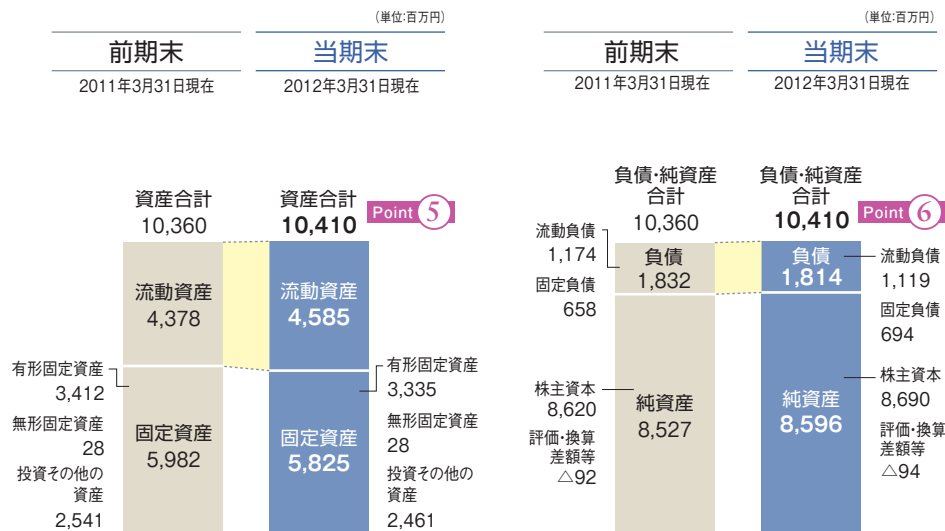
Point ③ 経常利益

営業利益が1.6%増加しましたが、営業外収益が13.9%減少したため、経常利益は0.1%の増加となりました。

Point ④ 当期純利益

税引前当期純利益が9.6%増加しましたが、法人税等の増加により当期純利益は4.4%の減少となりました。

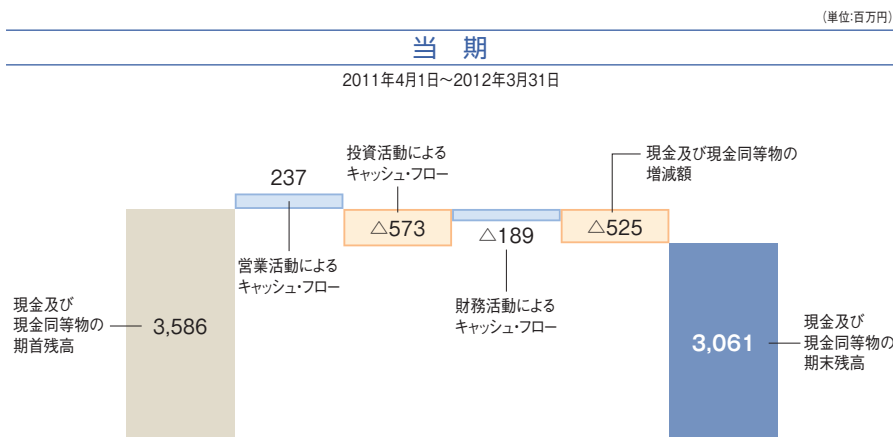
貸借対照表の概要

**Point 5** 資産

売上高の増加等の影響により流動資産が2億7百万円増加、減価償却等により固定資産は1億57百万円減少した結果、資産トータルでは49百万円の増加となりました。

Point 6 負債

未払法人税等の減少により流動負債が54百万円減少、退職金の引当等により固定負債は36百万円増加した結果、負債トータルでは18百万円の減少となりました。

キャッシュ・フロー計算書の概要 **Point 7****Point 7** キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及び法人税等の支払額の増加等により前期と比べ5億37百万円減少し、2億37百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金への預入や有価証券の取得により5億73百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により1億89百万円の支出となりました。以上の結果、当期末現金及び現金同等物の残高は30億61百万円となりました。

Stock Information

株式の状況 (2012年3月31日現在)

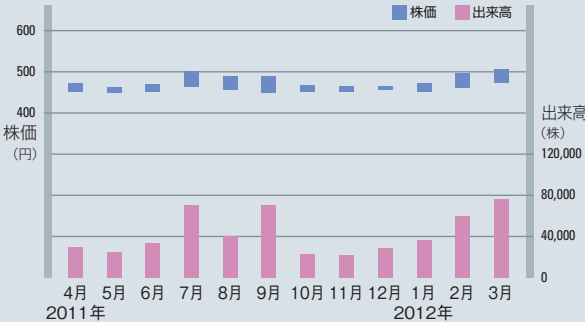
発行可能株式総数..... 35,000,000株
 発行済株式の総数..... 8,754,200株
 1単元の株式数..... 100株
 株主数..... 7,630名

大株主の状況(上位10名)

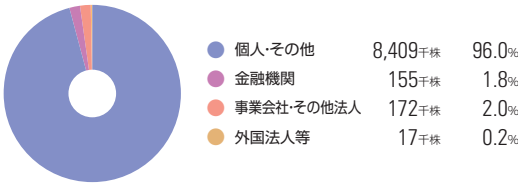
株主名	持株数	持株比率
田 辺 昇 一	1,474 (千株)	17.0 (%)
田 辺 次 良	562	6.4
田 辺 英 子	507	5.8
田 辺 洋 一 郎	507	5.8
樋 崎 十 紀	447	5.1
タナベ経営取引先持株会	296	3.4
タナベ経営社員持株会	207	2.3
田 原 敏 男	144	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	129	1.4
木 元 仁 志	123	1.4

(注) 持株比率は自己株式(90,509株)を控除して計算しております。

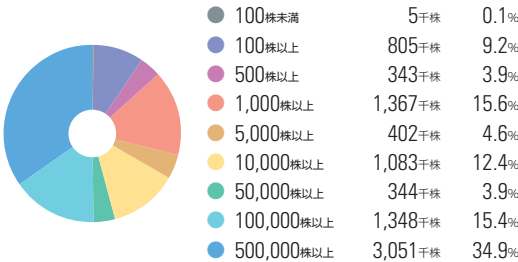
株価チャート



所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株主数比率

北海道地方	1.2 (%)
東北地方	1.3
関東地方	24.4
中部地方	8.7
近畿地方	58.4
中国地方	2.4
四国地方	0.6
九州地方	2.8
外国	0.2

Corporate Profile

会社の概況

商 号	株式会社タナベ経営 TANABE MANAGEMENT CONSULTING CO., LTD.	(2012年4月1日現在)
本 社 所 在 地	大阪市淀川区宮原3丁目3番41号	
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.tanabekeiei.co.jp	
創 業	昭和32年10月16日	
設 立	昭和38年4月1日	
資 本 金	1,772百万円	
従 業 員	284名	
役 員		(2012年6月26日現在)

代表取締役会長	田 辺 次 良	
代表取締役社長	木 元 仁 志	コンプライアンス担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事長 拓捺貝貿易(上海)有限公司董事
取締役副社長	若 松 孝 彦	コンサルティング統轄本部長 兼 ネットワーク本部、管理本部担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事
常務取締役	三 宅 弘 章	SP事業部長 兼 中国担当 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事 拓捺貝貿易(上海)有限公司董事長
常務取締役	長 尾 吉 邦	コンサルティング統轄本部 副本部長 田辺企業管理諮詢(上海)有限公司董事
常務取締役	大 川 雅 弘	企画開発部、中部本部、北陸支社担当
取 締 役	中 東 和 男	ネットワーク本部長
取 締 役	中 村 敏 之	大阪本部、中四国支社担当
取 締 役	南 川 典 人	西部本部長
常勤監査役	筒 井 博 貴	田辺企業管理諮詢(上海)有限公司監事 拓捺貝貿易(上海)有限公司監事
社 外 監 査 役	谷 宜 憲	弁護士(谷宜憲法律事務所代表)
社 外 監 査 役	矢 崎 晴 久	エム・ユー・トラスト・アップルプランニング 株式会社 代表取締役社長

事 業 所		(2012年6月26日現在)
本 社	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
コンサルティング統轄本部		
東 京 本 部	〒150-6034	東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー34F
中 部 本 部	〒450-0002	名古屋市中村区名駅4-6-17 名古屋ビルディング5F
大 阪 本 部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
西 部 本 部	〒810-0001	福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡12F
北 海 道 支 社	〒060-0005	札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ11F
東 北 支 社	〒980-6022	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル22F
新 潟 支 社	〒950-0087	新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル5F
北 陸 支 社	〒920-0856	金沢市昭和町16-1 ヴィサージュ5F
中 四 国 支 社	〒730-0016	広島市中区鞆町13-4 広島マツダビル10F
沖 縄 支 社	〒900-0015	那覇市久茂地1-12-12 ニッセイ那覇センタービル10F
湘南研修センター	〒238-0101	神奈川県三浦市南下浦町上宮田字根元1333
名古屋研修センター	〒481-0041	愛知県北名古屋市九之坪山73-1
企 画 開 発 部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
ネットワーク本部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
SP事業部		
営 業 本 部		
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F (東京一課・二課・五課)
東 京 三 課	〒330-0845	さいたま市大宮区仲町1-104 大宮仲町AKビル4F
東 京 四 課	〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-4-19 富士火災横浜ビル4F
大 阪 一 課	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
名 古 屋 営 業 所	〒460-0008	名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル6F
福 岡 営 業 所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-18-25 第五博多偕成ビル10F
特 販 部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
管 理 部	〒532-0003	大阪市淀川区宮原3-3-41
	〒104-0032	東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F
田辺企業管理諮詢(上海)有限公司		
	〒200041	上海市静安区南京西路1038号 梅龍鎮広場1202室
拓捺貝貿易(上海)有限公司		
	〒200336	上海市長寧区婁山関路83号新虹橋中心大厦26階2661室

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 期末配当金受領株主 3月31日
 確定日
 中間配当金受領株主 9月30日
 確定日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)
 上場証券取引所 大阪証券取引所JASDAQ市場
 公告の方法 電子公告の方法により行います。

公告掲載URL
<http://www.tanabekeiei.co.jp/koukoku/index.htm>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告を行う
 ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
 します。

お知らせ

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。
4. 当社では毎年9月30日現在、100株以上保有の株主のみさまに当社の特製手帳を贈呈いたします。ご愛用いただければ幸甚に存じます。

株主さま向け
アンケート

株主のみなさまの声を お聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
 アクセスコード入力後に表示される
 アンケートサイトにてご回答ください。
 所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 9644

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト
 内にある検索窓に、いいかぶと
 4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお持ち
 の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に
 到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
 抽選で薄謝(図書カード500円)
 を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについて
 の詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ
 使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはあり
 ません。

- アンケートのお問合せ
 「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 MAIL:info@e-kabunushi.com